

# 「ESDの10年と地域の取り組み」

持続可能な開発の実現のために国連が進める「ESD（Education for Sustainable Development、持続可能な開発のための教育）の10年」（2005年～2014年）は今年で最終年を迎え、次の枠組みについての議論の場としてユネスコ世界会議が11月10日～12日に愛知・名古屋で開催されます。

グローバル化が進む社会において、私たちは国と国の枠組みを超えて協力しあい、持続可能な社会の実現に向けて具体的に動き出す必要があります。ESDはそういった人材を育てる上で非常に重要な意味を持っています。本シンポジウムでは、「ESDの10年」と各地のESDの取り組みの具体例を学びながら、これからのESDについて考えてみたいと思います。

日時：2014年11月22日（土）10:30～12:15

会場：広島市南区民文化センタースタジオ  
（広島産業文化センター2階）

〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町16番27号

エコイノベーション  
メッセ2014  
開催中！

## 《プログラム（予定）》

【モデレーター】広島修道大学名誉教授 森嶋彰

10:30～10:40 挨拶（公益社団法人日本マレーシア協会理事長 小川孝一）

10:40～11:20 基調講演「ESDの10年と北九州市の取り組み」

北九州市立大学法学部政策科学科教授 三宅博之  
（北九州ESD協議会調査研究Pチームリーダー）

11:10～11:35 事例紹介「広島地区のESDの取り組みと平和学」

広島大学平和科学センター助教 小倉亜紗美

11:25～11:45 事例紹介「マレーシア・サラワク州でのESD活動に参加して」

広島県環境保全アドバイザー 青山秀雄

11:45～12:15 パネルディスカッション

